

中央公民館・勤青ホームだより

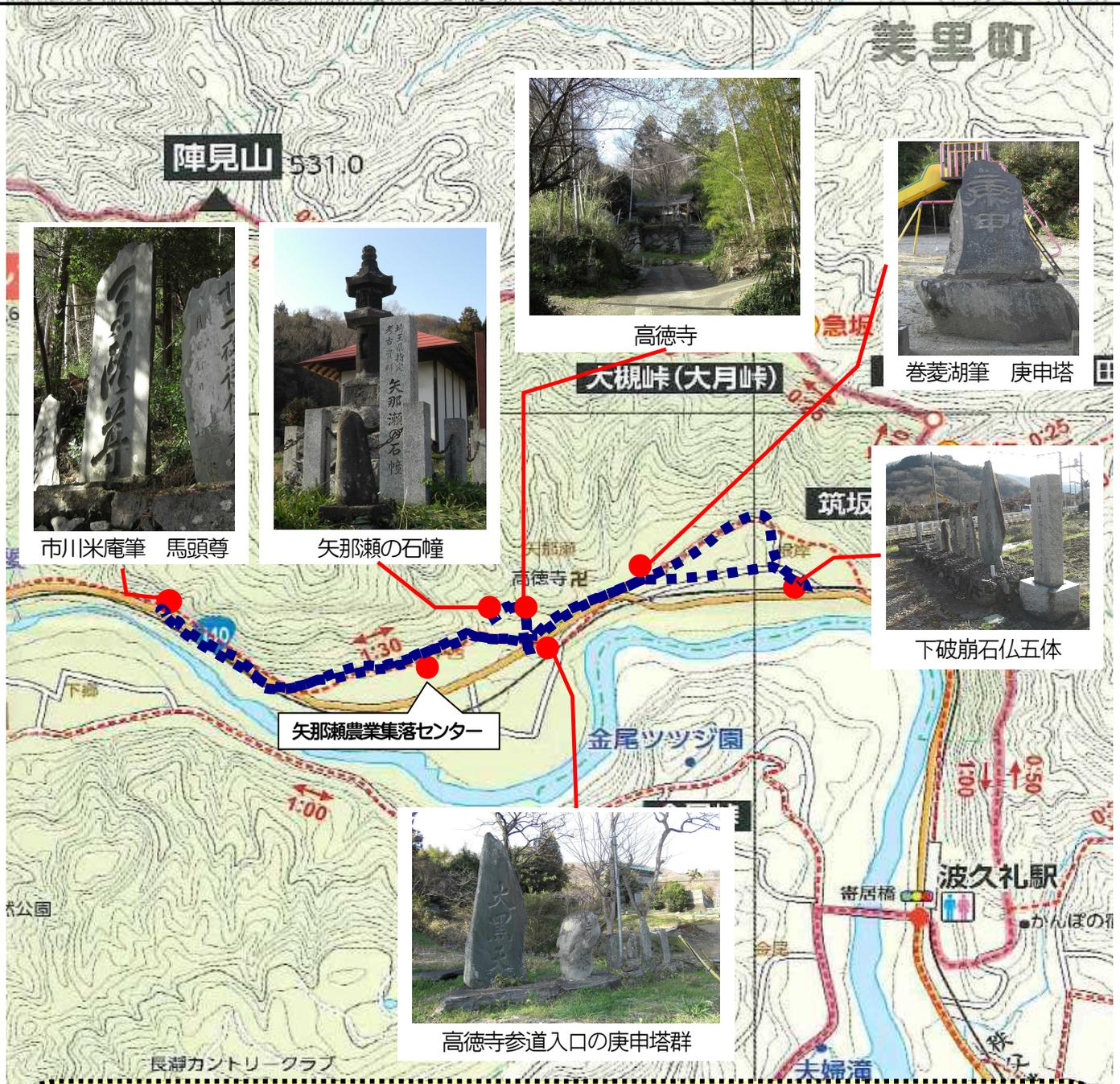
令和3年4月1日発行



長瀬町中央公民館・長瀬町勤労青少年ホーム

4月号

長瀬町大字野上下郷 3312 TEL:66-1800 FAX:66-1564 Email:koumin-k@town.nagatoro.saitama.jp



陣見山 531.0



高德寺



巻菱湖筆 庚申塔



市川米庵筆 馬頭尊



矢那瀬の石幢



下破崩石仏五体



高德寺参道入口の庚申塔群

3つの密(密閉空間・密集場所・密接場面)を避けながら、散歩などの軽い運動で、体力維持や気分転換を図っていただくため、本年度に実施した「七草寺とその周辺の文化財を巡る」のコースをご紹介します。コースを歩かれる際は、くれぐれも、感染予防対策、熱中症対策などにご配慮ください。

七草寺とその周辺の文化財を巡る 「矢那瀬周辺を歩く」

コース: 矢那瀬集落農業センター→梁瀬神社→市川米庵筆 馬頭尊→高德寺参道入口の庚申塔群→高德寺→矢那瀬の石幢(県指定)→八幡神社→巻菱湖筆 庚申塔→虎ヶ丘城跡 遠望→下破崩石仏五体→矢那瀬集落農業センター

特徴: 一部の狭道を除いて、全体的に平坦で舗装された道路を歩きます。

時間: 2時間強

※矢那瀬地内には七草寺はありませんが、貴重な文化資源が点在していますので、それらを散策したものです。

新刊図書のご案内

著作名・書名	内容紹介
(著) 渋沢 栄一 (訳) 守屋 淳 論語と算盤 	日本実業界の父が、生涯を通じて貫いた経営哲学とはなにか。「利潤と道徳を調和させる」という、経済人がなすべき道を示した『論語と算盤』は、すべての日本人が帰るべき原点である。明治期に資本主義の本質を見抜き、約500社もの会社設立を成功させた彼の言葉は、指針の失われた現代にこそ響く。経営、労働、人材育成の核心をつく経営哲学は色あせず、未来を生きる知恵に満ちている。
鳥羽 亮 剣鬼斬り (文庫) 	富沢町にある料理屋・松崎屋の女将に、二人組の男が言いがかりをつけてきた。偶然そこに通りかかった牢人の流想十郎は、男たちを一喝して追い払う。女将によると、脅しや嫌がらせは今回だけではないらしい。女将は、想十郎に住み込みで用心棒になってくれないかと懇願するのだった。ならず者たちが徒党を組んで再び店を襲うとき、想十郎の秘剣・胡蝶剣が放たれる！最強の剣客を描いた人気シリーズ、堂々の復活。
恩田 陸 灰の劇場 	大学の同級生の二人の女性は、一緒に住み、そして、一緒に飛び降りた。いま、「三面記事」から「物語」が始まる。きっかけは、「私」が小説家としてデビューした頃に遡る。それは、ごくごく短い記事だった。一緒に暮らしていた女性二人が橋から飛び降りて、自殺したというものである。その記事は「私」の中でずっと「棘」として刺さったままとなっていた。26年の時を超え、恩田陸デビュー当時の宿題が、ついに長編小説として刊行！
いわさき さとこ くつやさんとおばけ 寄贈 日産自動車株式会社 	さびれた通りのくつやさんにやってきたのは、おばけのちょうちんこぞう。アスファルトで足をいためてかわいそうに思ったくつやさんは、くつぞこがやわらかい、合ったくつをはかせてやります。すると次の日、今度ははてんぐがやってきて…。くつやのおじいさんと、おばけたちの交流を描いた心あたたまる絵本。つぎつぎとあらわれるおばけたちも魅力的です。 第36回日産童話と絵本のグランプリ絵本大賞受賞作品
(作) 山本 泉 (絵) 山田 真奈未 なすびは何色? 寄贈 日産自動車株式会社 	京都から転校してきた、「ぼく」のとなりの席になった岸田さんと親しくなるきっかけは、しゃっくりと、「なすびは何色?」という不思議なことばでした。学校の帰り道、「ぼく」が止まらないしゃっくりに困っていると、岸田さんが後ろから近づいてきて、「ぼく」を追いこしたと思ったら、くるとふりかえって、「なすびは何色?」と不思議な質問をしてきて…。「ぼく」と岸田さんの微妙な距離感をユーモラスにえがく。 第36回日産童話と絵本のグランプリ童話大賞受賞作品
埼玉県平和資料館 渋沢栄一と平和 (テーマ展図録) 寄贈 埼玉県平和資料館 	渋沢栄一は、「近代日本経済の父」と呼ばれるように数々の会社を設立し、経済活動に携わった一方で、教育や福祉、国際親善、民間外交にも積極的に取り組んだ。中でも親善人形計画に賛同し、日本国際児童親善会の会長や日本国際連盟協会の初代会長として、国際協調による戦争防止を広く訴えていたことも知られている。本書は昭和初期の日米の人形交流を中心に、その後の戦争の時代もあわせて紹介している。
さいたま文学館 文学に描かれた埼玉の「城」 (企画展一図録一) 寄贈 さいたま文学館 	埼玉県域は武威武士の本拠地であったため、多くの館が設けられ、戦国時代には、多彩な形態を持つ本格的な城郭が築城された。城は、城跡・土塁だけになっても訪れた人に当時の姿を想像させ、近現代の作家の創作意欲に刺激を与え続ける存在となっている。埼玉県域の城や城跡などが登場する歴史・伝承・古典・近現代文学等の作品を、城跡からの出土品等を交えながら紹介している。

【 中央公民館からのお知らせ 】

令和3年3月22日(月)から、開館時間が午前9時から午後9時までになっています。

また、館内での飲食は禁止となっていますが、各部屋は人数制限を設けたうえで、貸出ししています。

詳しくは、中央公民館にお問い合わせください。

編集

後記

4月から新年度が始まります。皆さんに親しまれる事業や役立つ講座を鋭意検討中です。新型コロナウイルスの様子を見ながら、順次『公民館だより』で案内をしていく予定です。感染防止に努めながら、奮ってご参加ください。

今年度も、皆さんからのお便りが頼りです。